

平成 23 年度 特別 システム監査技術者試験 解答例

午後 I 試験

問 1

出題趣旨	
<p>データセンタ運用のコスト削減とセキュリティレベル向上のために、外部の専門ベンダが所有し、管理するデータセンタのハウジングサービスを利用する企業が増えている。しかし、現在使用中のコンピュータ機器の物理的な移転、ネットワーク構成の変更や移転先でのサーバの設置などによって、業務再開までに一時的にリスクが高まることから、入念な移転計画の策定が必要となる。</p> <p>本問では、データセンタ移転に当たって発生するリスクに関する知識、リスクの程度に応じたコントロールを識別する能力、また、それらのコントロールの有効性を検証するために必要な監査手続を適用する能力を問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	バックアップ機の設置及び稼働確認を先に行い、本番機を搬出する。		
設問 2	監査証拠	各オーナー部門が策定した互換性確認テスト計画	
	内容	全テスト項目が 1 週間で完了できる作業量かどうか。	
設問 3	監査手続	アプリケーションプログラム一覧と調査済の仕様書の突合せ	
	理由	調査されていないアプリケーションプログラムが存在するリスクがあるから	
設問 4	理由	切戻し計画はサーバ移転後の災害などの発生を想定したものでないから	
	対策	本番機移転の前に、システム構成の変更に合わせて BCP を更新する。	

問 2

出題趣旨	
<p>大幅な納期遅延を招くシステム開発プロジェクトの失敗は少なくない。とりわけ社内のシステム開発経験が浅く、外部に委託せざるを得ない場合や、複雑な開発体制がとられている場合などにおいては、失敗のリスクはより高くなる。このような状況の中で、重要なシステム開発プロジェクトについては、失敗を繰り返さないためにも、プロジェクト管理に問題がないかどうかを、システム監査によって評価し、検証することが求められている。</p> <p>本問では、進捗管理を評価し、検証するために必要な監査ポイントに関する知識と、監査ポイントに即した監査手続を適切に立案できる能力を問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	分からないこと	スケジュール遅延が進捗会議で網羅的に報告され、対応が有効であったか。	
	監査手続	プロジェクトの一定期間を通して進捗管理表をすべてレビューする。	
設問 2	監査ポイント	報告資料に遅延の事実及びその対応策が適切に記載されていたか。	
	監査手続	進捗管理表と報告資料を突き合わせ、進捗遅れや重要な課題の報告内容を確認する。	
設問 3	プロジェクト開始時に終了判定基準を定め、成果物によって終了判定を行う。		

問 3

出題趣旨	
<p>システム開発の要件定義段階できちんとした要件定義を実施しておかなければ、基本設計工程以降での手戻りが発生したり、開発工数の増加、開発の遅延、品質の低下などを引き起こしたりするおそれがある。システム監査人は、システムの開発工程を理解し、要件定義段階で実施すべき内容を十分に把握し、委託元企業と委託先企業の役割分担や契約内容を踏まえて、監査を実施する必要がある。</p> <p>本問では、システムの企画段階、特に要件定義段階でのシステム監査の重要性及び着眼点の理解と、システム監査を適切に実施できる能力を問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	(1) T社とX社の間で用語やドキュメントの記載内容の認識が相違し、設計内容で誤解が生じる。	
	(2) 使用する用語の意味や定義が一致しているか確認すること	
設問 2	(1) 発注者であるT社の責任において要件定義書が作成されているか。	
	(2) システム基盤に依存する記述のレビューはどのように実施されたのか。	
設問 3	未確定の業務要件が確定することによって確定済の要件に影響が出た場合の対応方針	
設問 4	工場の稼働時間帯におけるシステムの稼働率の定義	

問 4

出題趣旨	
<p>アプリケーションシステムにおいては、あるコントロールが別のコントロールとセットで機能したり、あるコントロールの限界を別のコントロールで補完したりするように、複数の組合せでデザインされることが多い。このようなコントロールの組合せを十分に検討しなければ、コントロールの有効性を適切に評価することができない。そこでシステム監査人は、コントロールの有効性の評価に当たっては、複数のコントロールを関連付けて理解し、システムの目的を考慮しつつ、総合的に検討する必要がある。</p> <p>本問では、予算管理システムを例として、適切な予算実績管理を達成するためのコントロールを体系的に評価できる能力を問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	(1) 一般権限の派遣用 ID は、承認入力がないと発注確定データは作成できないから	
	(2) リーダである課長が派遣用 ID を利用すれば、1人で発注確定データが作成できる。	
設問 2	部長が詳細ログレポートを漏れなくチェックしているか確かめる。	
設問 3	予算残高の更新が検収入力時なので、予算を超過した発注が可能である。	
設問 4	(1) すべての購買実績データについて照合したか、確認できないから	
	(2) 購買実績データを日次で出力し、照合が完了した取引を消し込む。	